

■集計

以下の協働事業自己チェックリストの集計は事務局担当者が行います。

- (1) 事務局担当者は、集計結果をチェックリスト記入者全員に配布してください。
- (2) 集計シートの小項目で「はい」が多い・少ないのは、共通認識ができていないか、あまり共通認識となっていないかの度合いを表します。

認識できている小項目と認識されにくい小項目を確認します。

認識されにくい部分については、各責任者【*】から全員に説明を行った上で、認識のすり合わせができるように話し合ってください。

【*責任者】大項目Ⅰ・Ⅲに関しては組織のリーダー、Ⅱはプロジェクトリーダー、

役割を兼任している場合は、あえて分けて説明していただくことはありません。

協働事業自己チェックリスト 集計シート

記入者数N=

項目	小項目	はい	いいえ	?	合計
Ⅰ. 協働の前提	1. 事業の公益性と行政関与の妥当性	2			8
	2. 協働の妥当性	2			
	3. 協働方法の検討	1	1		
	4-①選択の理由 [選択基準・審査基準]	2			
	4-②プロセスの透明性	1	1		
Ⅱ. 事業の前提	1. 事前のニーズ調査と事業の期限設定	1	1		5
	2. 目的の明確さと共有	2			
	3. 成果目標の明確さと共有	1		1	
	4. コスト負担と共同管理	1		1	
	5. 事業計画書・収支計画書の共同作成		1	1	
Ⅲ. 実施の前提	1. 当事者性の自覚	2			10
	2. 意思決定のあり方	2			
	3. 対等 [自立性・自律性・自発性]	2			
	4. コミュニケーションと合意形成	2			
	5. 役割分担	2			

NPOと行政の 協働事業自己チェックリスト

[企画立案期]

試作品

このチェックリストは、
「市民と行政」が行う「協働事業」を
「事業を立案し、中心的に関わろうとしている人」が、
事業の企画を始める前の「企画立案期」に
「セルフチェック」を行うためのシートです。

所属組織名称：特定非営利活動法人地域づくり考房みなど

記入者氏名：海山裕之

記入年月日：平成 17 年 2 月 24 日

協働事業の名称：住民参画のプラットフォーム創造事業

■はじめに

以下のチェックリストの設問を読み、現在、行われていると思うものには はい、
行われていないと思うものには いいえ、わからないものには ? を選び、回答を
○で囲み（データに直接入力の場合は、内を灰色で塗りつぶす）、チェックしてください。

I. 協働の大前提

1. 事業の公益性と行政関与の妥当性

<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input checked="" type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
--	---	----------------------------

行おうとしている事業は、広く、不特定多数の市民に資するもの、あるいは地域の課題解決や社会変革に役立つものであり、必要とされているにも関わらず、現在、地域で行われていないか、あるいは提供が困難となっている事業ですか？

[ビジョン]

当事業で取り上げた「循環者ファンド」は、NPO への寄付に対して発行される J マネーが、地域を循環しながら新しいつながりを創っていくことでまちづくりが促進されるというモデルであるが、NPO への資金サポートの必要性は広く認識されているにも関わらず、行政機関においても十分な取り組みが行われてはおらず、あわせて地域通貨に関しても数多の事例が出てきてはいるものの、まちづくりのツールとして明確な成果の見られるものは少数である。

2. 協働の妥当性

<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input checked="" type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
--	---	----------------------------

行おうとしている事業は、行政と市民との協働でなければできない、あるいは協働で行うことにより、効果が増すことが期待できる事業ですか？

3. 協働方法の検討

<input type="checkbox"/> はい	<input checked="" type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
-----------------------------	---	----------------------------

行おうとしている事業にとって最適と思われる協働の形態 [委託・補助・助成・共催・協力・実行委員会・その他] を、協働する上でパートナーと考えられる相手と話し合う機会や場を持っていますか？

[希望する協働の形態]

現在の協力関係というかたちに満足している。

4. パートナーの選択

行おうとしている事業を効果的に実施する上で、事業に必要な知識や経験、能力、実績を有している人や組織、連携できそうな機関を把握し、適切なパートナーを選定することが必要です。

また、パートナーを選ぶ上で、プロセスの透明性を確保することが重要です。

① 選択の理由 [選択基準・審査基準]

<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input checked="" type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
--	---	----------------------------

[発案当初から決まっている場合] パートナー選択の理由は明確であり、公開されていますか？

[決まっていない場合] パートナーを選ぶ基準があり、公開されていますか？

② プロセスの透明性

<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input checked="" type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
--	---	----------------------------

パートナーの選択から決定までのプロセスが公開されていますか？

上記「はい」 と答えた合計	4
------------------	---

II. 事業の前提

1. 事前のニーズ調査と事業の期限設定

はい	いいえ	?
----	-----	---

行おうとしている事業について、この事業の受益者となる人たちに対応した適切な事業計画を立てるために、事前に受益者と思われる人たちと話し合うなど情報収集に努め、行政関与が必要な期間や状況が関係者間で検討され、共有されていますか？

2. 目的の明確さと共有

はい	いいえ	?
----	-----	---

行おうとしている事業の目的が明確となっており、事業全体の指針として意識され、関係者間で共有されていますか？

[事業の目的]

当事業は地域通貨を活用したNPOの資金サポートシステム「循環者ファンド」のまちづくりのツールとしての可能性を検討し、市民主導で稼働させるまでのプロセスを協働することを目的としている。

3. 成果目標の明確さと共有

はい	いいえ	?
----	-----	---

行おうとしている事業の成果目標が明確となっており、事業全体のゴールとして意識され、関係者間で共有されていますか？

[事業の成果目標]

循環者ファンドを本格稼働に導くことが一応の本事業としてのゴールであると考えられるが、システム自体はそこがスタートであり、パートナーとの協力体制はその後も継続されるべきものである。

[予定される成果の帰属]

4. コスト負担と共同管理

はい	いいえ	?
----	-----	---

行おうとしている事業に必要な資源(人・物・予算・情報)を話し合い、それぞれが提供や調達役割を担うなど、提供された資源を共同で管理し、持ち寄ったものを大切に最大限に活用する方法を検討していますか？

5. 事業計画書・収支計画書の共同作成

はい	いいえ	?
----	-----	---

行おうとしている事業の事業計画や収支計画を、互いに話し合いながら、作成していますか？
あるいは、共同で作成を予定していますか？

上記「はい」と答えた合計	3
--------------	---

Ⅲ. 事業実施の前提

1. 当事者性の自覚

はい	いいえ	?
----	-----	---

お互いが“当事者”としての自覚を持って、事業実施にともなう業務や費用を分担し、予想外に負荷がかかる場合については、一方的に責任を押し付けず、両者で話し合いの上、負担の軽減や変更など柔軟な対応を図っていく体制はありますか？

2. 意思決定のあり方

はい	いいえ	?
----	-----	---

お互いに相手の意思を尊重した合意形成に基づく意思決定の方法を検討し、速やかに意思決定を行える体制をつくるべく、話し合っていますか？

3. 対等 [自立性・自律性・自発性]

はい	いいえ	?
----	-----	---

お互いに依存することなく、事業実施に主体的かつ積極的に取り組む姿勢でのぞみ、お互いの立場を理解し、対等と思える関係を話し合いによって築くことに努めていきますか？
また、責任分担についても明確になっていますか？

4. コミュニケーションと合意形成

はい	いいえ	?
----	-----	---

お互いに事業に関わる情報を提供し合い、事業の方向性の確認や事業内容の変更について意見を交換するなど、必要と思えることをいつでも話し合える手段を持ち、また、機会や場をつくるなどして合意形成に努めていきますか？

5. 役割分担

はい	いいえ	?
----	-----	---

行おうとしている事業を効果的に実施する上で、必要となる資源(人・物・予算・情報)を話し合い、それぞれが適切な役割とそれに見合う負担をするなど、適した役割を責任持って担う準備がありますか？

上記「はい」と答えた合計	5
--------------	---

NPOと行政の 協働事業自己チェックリスト

[企画立案期]

試作品

このチェックリストは、
「市民と行政」が行う「協働事業」を
「事業を立案し、中心的に関わろうとしている人」が、
事業の企画を始める前の「企画立案期」に
「セルフチェック」を行うためのシートです。

所属組織名称：観光・交流室

記入者氏名：森 元就

記入年月日 2005年2月24日

協働事業の名称：住民参画のプラットフォーム創造事業

■はじめに

以下のチェックリストの設問を読み、現在、行われていると思うものには はい、
 行われていないと思うものには いいえ、わからないものには ? を選び、回答を
 ○で囲み（データに直接入力の場合は、 内を灰色で塗りつぶす）、チェックしてください。

I. 協働の大前提

1. 事業の公益性と行政関与の妥当性

<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
--	------------------------------	----------------------------

行おうとしている事業は、広く、不特定多数の市民に資するもの、あるいは地域の課題解決や社会変革に役立つものであり、必要とされているにも関わらず、現在、地域で行われていないか、あるいは提供が困難となっている事業ですか？

[ビジョン]

2. 協働の妥当性

<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
--	------------------------------	----------------------------

行おうとしている事業は、行政と市民との協働でなければならない、あるいは協働で行うことにより、効果が増すことが期待できる事業ですか？

3. 協働方法の検討

<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
--	------------------------------	----------------------------

行おうとしている事業にとって最適と思われる協働の形態 [委託・補助・助成・共催・協力・実行委員会・その他] を、協働する上でパートナーと考えられる相手と話し合う機会や場を持っていますか？

[希望する協働の形態]

4. パートナーの選択

行おうとしている事業を効果的に実施する上で、事業に必要となる知識や経験、能力、実績を有している人や組織、連携できそうな機関を把握し、適切なパートナーを選定することが必要です。

また、パートナーを選ぶ上で、プロセスの透明性を確保することが重要です。

① 選択の理由 [選択基準・審査基準]

<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
--	------------------------------	----------------------------

[発案当初から決まっている場合] パートナー選択の理由は明確であり、公開されていますか？

[決まっていない場合] パートナーを選ぶ基準があり、公開されていますか？

② プロセスの透明性

<input type="checkbox"/> はい	<input checked="" type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
-----------------------------	---	----------------------------

パートナーの選択から決定までのプロセスが公開されていますか？

上記「はい」と答えた合計	4
--------------	---

II. 事業の前提

1. 事前のニーズ調査と事業の期限設定

はい	いいえ	?
----	-----	---

行おうとしている事業について、この事業の受益者となる人たちに対応した適切な事業計画を立てるために、事前に受益者と思われる人たちと話し合うなど情報収集に努め、行政関与が必要な期間や状況が関係者間で検討され、共有されていますか？

2. 目的の明確さと共有

はい	いいえ	?
----	-----	---

行おうとしている事業の目的が明確となっており、事業全体の指針として意識され、関係者間で共有されていますか？

[事業の目的]

循環者ファンドを新しいまちづくりシステムの1つのモデルとし、そのシステム構築の検討会等に参画したり、その検討経過を情報発信したりすることを通じ、地域住民、NPO等による主体的なまちづくりの取り組みを推進する。

3. 成果目標の明確さと共有

はい	いいえ	?
----	-----	---

行おうとしている事業の成果目標が明確となっており、事業全体のゴールとして意識され、関係者間で共有されていますか？

[事業の成果目標]

循環者ファンド事業に関して、実施上の課題をともに検討しながら進める。

[予定される成果の帰属]

地域づくり考房みなど、地域全体、三重県

4. コスト負担と共同管理

はい	いいえ	?
----	-----	---

行おうとしている事業に必要な資源(人・物・予算・情報)を話し合い、それぞれが提供や調達の役割を担うなど、提供された資源を共同で管理し、持ち寄ったものを大切に最大限に活用する方法を検討していますか？

5. 事業計画書・収支計画書の共同作成

はい	いいえ	?
----	-----	---

行おうとしている事業の事業計画や収支計画を、互いに話し合いながら、作成していますか？
あるいは、共同で作成を予定していますか？

上記「はい」と答えた合計	2
--------------	---

Ⅲ. 事業実施の前提

1. 当事者性の自覚

はい	いいえ	？
----	-----	---

お互いが“当事者”としての自覚を持って、事業実施にともなう業務や費用を分担し、予想外に負荷がかかる場合については、一方的に責任を押し付けず、両者で話し合いの上、負担の軽減や変更など柔軟な対応を図っていく体制はありますか？

2. 意思決定のあり方

はい	いいえ	？
----	-----	---

お互いに相手の意思を尊重した合意形成に基づく意思決定の方法を検討し、速やかに意思決定を行える体制をつくるべく、話し合っていますか？

3. 対等 [自立性・自律性・自発性]

はい	いいえ	？
----	-----	---

お互いに依存することなく、事業実施に主体的かつ積極的にとり組む姿勢でのぞみ、お互いの立場を理解し、対等と思える関係を話し合いによって築くことに努めていきますか？
また、責任分担についても明確になっていますか？

4. コミュニケーションと合意形成

はい	いいえ	？
----	-----	---

お互いに事業に関わる情報を提供し合い、事業の方向性の確認や事業内容の変更について意見を交換するなど、必要と思えることをいつでも話し合える手段を持ち、また、機会や場をつくるなどして合意形成に努めていきますか？

5. 役割分担

はい	いいえ	？
----	-----	---

行おうとしている事業を効果的に実施する上で、必要となる資源(人・物・予算・情報)を話し合い、それぞれが適切な役割とそれに見合う負担をするなど、適した役割を責任持って担う準備がありますか？

上記「はい」と答えた合計	5
--------------	---

■集計

以下の協働事業自己チェックリストの集計は事務局担当者が行います。

- (1) 事務局担当者は、集計結果をチェックリスト記入者全員に配布してください。
- (2) 集計シートの小項目で「はい」が多い・少ないのは、共通認識ができていないか、あまり共通認識となっていないかの度合いを表します。

認識できている小項目と認識されにくい小項目を確認します。

認識されにくい部分については、各責任者【*】から全員に説明を行った上で、認識のすり合わせができるように話し合ってください。

【*責任者】大項目Ⅰに関しては組織のリーダー、Ⅱはプロジェクトリーダー、Ⅲは事務局主担当役割を兼任している場合は、あえて分けて説明していただくことはありません。

協働事業自己チェックリスト 集計シート

記入者数N=

項目	小項目	はい	いいえ	?	合計
Ⅰ. 協働の前提	1. 地域の将来像と事業とのマッチング	2			8
	2. 協働のカタチ			2	
	3-①役割と責任	2			
	3-②コミュニケーションと合意形成	2			
	3-③意思決定と指示系統	2			
Ⅱ. 事業	1. 事業の目的	2			5
	2. 事業の成果	1		1	
	3. 成果の帰属	1	1		
	4. 事業の完了時期		2		
	5. 事業後の展望	1		1	
Ⅲ. 事業実施体制	1. 業務分担	2			10
	2. 費用分担	2			
	3. 情報共有	2			
	4. 問題発生時の体制	2			
	5. スケジュール管理と進捗確認	2			

NPOと行政の 協働事業自己チェックリスト

[中間期]

試作品

このチェックリストは、
「市民と行政」が行う「協働事業」を
「事業に中心的に関わっている人」が、
事業の企画から実施段階の途中の「中間期」に
「セルフチェック」を行うためのシートです。

所属組織名称：特定非営利活動法人地域づくり考房みなど

記入者氏名：海山裕之

記入年月日：平成 17 年 2 月 24 日

協働事業の名称：住民参画のプラットフォーム創造事業

■はじめに

以下のチェックリストの設問を読み、現在、行われていると思うものには はい、
 行われていないと思うものには いいえ、わからないものには ? を選び、回答を
 ○で囲み（データに直接入力の場合は、 内を灰色で塗りつぶす）、チェックしてください。

I. 協働の前提

1. 地域の将来像と事業とのマッチング

<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
--	------------------------------	----------------------------

事業を始める時に両者で話し合った、事業終了後の地域や社会に与える影響〔課題解決・社会変革〕の予測や可能性は、事業途中になっても変更はありませんか？

[ビジョン] 変更は特になし。

2. 協働の形態

<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input checked="" type="checkbox"/> ?
-----------------------------	------------------------------	---------------------------------------

この事業にとって最適と思われる協働の形態〔委託・補助・助成・共催・協力・実行委員会・その他〕を両者で話し合って選択することができましたか？

[現在の協働の形態]

3. 対等な関係

お互いに依存することなく、事業実施に主体的かつ積極的に取り組む姿勢でのぞみ、お互いの考え方や立場の違いを理解し、多様な価値観を認め合いながら、対等と思える関係を話し合いによって築くことが、事業をより効果的に実施していくために重要です。

① 役割と責任

<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
-----------------------------	------------------------------	----------------------------

この事業を効果的に実施する上で必要となる資源（人・物・予算・情報）を話し合い、それぞれが適切な役割とそれに見合う負担をするなど、適した役割を担い、共に事業を実施している認識を持って責任を果たしていますか？

② コミュニケーションと合意形成

<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
-----------------------------	------------------------------	----------------------------

お互いに事業に関わる情報を提供し合い、事業の方向性の確認や事業内容の変更について意見を交換するなど、必要と思えることをいつでも話し合える手段を持ち、また、機会や場をつくるなどして合意形成に努めていますか？

③ 意思決定と指示系統

<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
-----------------------------	------------------------------	----------------------------

お互いに相手の意思を尊重した合意形成に基づく意思決定の方法を検討し、速やかに意思決定を行える体制があり、指示が問題なく伝達されていますか？

上記「はい」と答えた合計	4
--------------	---

II. 事業

1. 事業の目的

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業を始める時に両者で話し合った事業の目的は、現在、事業全体の指針として全員に意識され、目的に沿った事業内容となっていますか？

[事業の目的]

当事業は地域通貨を活用したNPOの資金サポートシステム「循環者ファンド」のまちづくりのツールとしての可能性を検討し、市民主導で稼働させるまでのプロセスを協働することを目的としている。

2. 事業の成果

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業を始める時に両者で話し合った成果目標は、現在、事業全体のゴールとして全員に意識され、事業終了時に達成が期待できますか？

[事業の成果目標]

3. 成果の帰属

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業終了時における具体的な成果（物）とその帰属について、両者で話し合い、合意が取れていますか？

[具体的成果（物）]

事業報告書（循環者ファンドの立ち上げに至る経緯から今後の可能性、方向性まで）、ならびに事例発表用のツール（パワーポイントデータ）

[帰属]

4. 事業の完了時期

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業を始める時に両者で話し合い設定した事業期間が、期待された成果目標を達成するために適切であったかどうかを話し合い、事業完了時期の合意が取れていますか？

5. 事業後の展望

はい	いいえ	?
----	-----	---

協働事業終了後に、この事業が今後どのような形で続いていくことが望ましいか、事業が地域や社会に与える影響〔課題解決・社会変革〕について考慮し、社会的な責任を果たしていく体制などを両者で検討していますか？

[事業後の展望・方向性]

市民主導の地域通貨の運営については事務局の継続性がひとつの課題であるが、運営費をどう捻出するかが大きな問題として浮かび上がってきている。事務局に入る手数料の20%だけでは、有償の専従スタッフを雇うことは困難であり、別の手段で収益を上げていけるような組織を新たに立ち上げることも検討する必要がある。

上記「はい」 と答えた合計	2
------------------	---

Ⅲ. 事業実施体制

1. 業務分担

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業開始の際にお互いに取り決めた事業実施にともなう業務分担は、お互いにとって納得のいくものであり、予想外に負荷がかかる場合については、両者で話し合いの上、変更するなどの対応を図っていますか？

2. 費用分担

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業開始の際にお互いに取り決めた事業実施にともなう費用分担は、お互いにとって納得のいくものであり、予想外に費用がかかる場合については、両者で話し合いの上、費用分担の変更や外部からの資金調達などの対応を図っていますか？

3. 情報共有

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業を円滑に実施するために、事業に関する情報を入手後、スピーディーかつ積極的に協働のパートナーに提供し、情報共有に努めていますか？

4. 問題発生時の体制

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業実施に関して問題が発生した場合は、速やかに両者で問題について情報共有し、解決に向けた話し合いを行ったり、解決できない場合は第三者を交えて協議するなどの体制はありますか？

5. スケジュール管理と進捗確認

はい	いいえ	?
----	-----	---

この事業を準備・実施するにあたり、関係者間で業務遂行の時期が明確になっており、進捗状況を互いに連絡し合い、効果的な進め方ができているかを確認する体制があり、対応できていますか？

上記「はい」と答えた合計	5
--------------	---

NPOと行政の 協働事業自己チェックリスト

[中間期]

試作品

このチェックリストは、
「市民と行政」が行う「協働事業」を
「事業に中心的に関わっている人」が、
事業の企画から実施段階の途中の「中間期」に
「セルフチェック」を行うためのシートです。

所属組織名称：観光・交流室

記入者氏名：森 元就

記入年月日 2005年2月24日

協働事業の名称：住民参画のプラットフォーム創造事業

■はじめに

以下のチェックリストの設問を読み、現在、行われていると思うものには はい、
行われていないと思うものには いいえ、わからないものには ? を選び、回答を
○で囲み（データに直接入力の場合は、 内を灰色で塗りつぶす）、チェックしてください。

I. 協働の前提

1. 地域の将来像と事業とのマッチング

<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
-----------------------------	------------------------------	----------------------------

事業を始める時に両者で話し合った、事業終了後の地域や社会に与える影響 [課題解決・社会変革] の予測や可能性は、事業途中になっても変更はありませんか？

[ビジョン]

2. 協働の形態

<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
-----------------------------	------------------------------	----------------------------

この事業にとって最適と思われる協働の形態 [委託・補助・助成・共催・協力・実行委員会・その他] を両者で話し合って選択することができましたか？

[現在の協働の形態]

3. 対等な関係

お互いに依存することなく、事業実施に主体的かつ積極的にとり組む姿勢でのぞみ、お互いの考え方や立場の違いを理解し、多様な価値観を認め合いながら、対等と思える関係を話し合いによって築くことが、事業をより効果的に実施していくために重要です。

① 役割と責任

<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
-----------------------------	------------------------------	----------------------------

この事業を効果的に実施する上で必要となる資源(人・物・予算・情報)を話し合い、それぞれが適切な役割とそれに見合う負担をするなど、適した役割を担い、共に事業を実施している認識を持って責任を果たしていますか？

② コミュニケーションと合意形成

<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
-----------------------------	------------------------------	----------------------------

お互いに事業に関わる情報を提供し合い、事業の方向性の確認や事業内容の変更について意見を交換するなど、必要と思えることをいつでも話し合える手段を持ち、また、機会や場をつくるなどして合意形成に努めていますか？

③ 意思決定と指示系統

<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
-----------------------------	------------------------------	----------------------------

お互いに相手の意思を尊重した合意形成に基づく意思決定の方法を検討し、速やかに意思決定を行える体制があり、指示が問題なく伝達されていますか？

上記「はい」と答えた合計	4
--------------	---

II. 事業

1. 事業の目的

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業を始める時に両者で話し合った事業の目的は、現在、事業全体の指針として全員に意識され、目的に沿った事業内容となっていますか？

[事業の目的]

循環者ファンドを新しいまちづくりシステムの1つのモデルとし、そのシステム構築の検討会等に参画したり、その検討経過を情報発信したりすることを通じ、地域住民、NPO等による主体的なまちづくりの取り組みを推進する。

2. 事業の成果

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業を始める時に両者で話し合った成果目標は、現在、事業全体のゴールとして全員に意識され、事業終了時に達成が期待できますか？

[事業の成果目標]

循環者ファンド事業に関して、実施上の課題をともに検討しながら進める。

3. 成果の帰属

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業終了時における具体的な成果（物）とその帰属について、両者で話し合い、合意が取れていますか？

[具体的成果（物）] 循環者ファンドのシステム

[帰属] 地域づくり考房みなど

4. 事業の完了時期

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業を始める時に両者で話し合い設定した事業期間が、期待された成果目標を達成するために適切であったかどうかを話し合い、事業完了時期の合意が取れていますか？

5. 事業後の展望

はい	いいえ	?
----	-----	---

協働事業終了後に、この事業が今後どのような形で続いていくことが望ましいか、事業が地域や社会に与える影響 [課題解決・社会変革] について考慮し、社会的な責任を果たしていく体制などを両者で検討していますか？

[事業後の展望・方向性]

上記「はい」と答えた合計	3
--------------	---

Ⅲ. 事業実施体制

1. 業務分担

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業開始の際にお互いに取り決めた事業実施にともなう業務分担は、お互いにとって納得のいくものであり、予想外に負荷がかかる場合については、両者で話し合いの上、変更するなどの対応を図っていますか？

2. 費用分担

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業開始の際にお互いに取り決めた事業実施にともなう費用分担は、お互いにとって納得のいくものであり、予想外に費用がかかる場合については、両者で話し合いの上、費用分担の変更や外部からの資金調達などの対応を図っていますか？

3. 情報共有

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業を円滑に実施するために、事業に関する情報を入手後、スピーディーかつ積極的に協働のパートナーに提供し、情報共有に努めていますか？

4. 問題発生時の体制

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業実施に関して問題が発生した場合は、速やかに両者で問題について情報共有し、解決に向けた話し合いを行ったり、解決できない場合は第三者を交えて協議するなどの体制はありますか？

5. スケジュール管理と進捗確認

はい	いいえ	?
----	-----	---

この事業を準備・実施するにあたり、関係者間で業務遂行の時期が明確になっており、進捗状況を互いに連絡し合い、効果的な進め方ができているかを確認する体制があり、対処できていますか？

上記「はい」と答えた合計	5
--------------	---

■集計

以下の協働事業自己チェックリストの集計は事務局担当者が行います。

- (1) 事務局担当者は、集計結果をチェックリスト記入者全員に配布してください。
- (2) 集計シートの小項目で「はい」が多い・少ないのは、共通認識ができているか、あまり共通認識となっていないかの度合いを表します。
 認識できている小項目と認識されにくい小項目を確認します。
 認識されにくい部分については、認識のすり合わせができるように話し合ってください。
- (3) 話し合った結果は、次回の協働事業を実施する際にお役立てください。

協働事業自己チェックリスト 集計シート

記入者数N=

項目	小項目	はい	いいえ	?	合計
I. 事業の結果	1. 問題発生時の体制	2			7
	2. クレームの吸い上げとフィードバック	2			
	3. 事業実施後の振り返り	1	1		
	4. 成果の達成	1		1	
	5. 事業の将来展望	1	1		
II. 事業の成果	1. 事業後の受益者とのコミュニケーションと満足度	2			7
	2. 事業後の資源提供者とのコミュニケーションと満足度			2	
	3. 人々の自立性の向上	1		1	
	4. 新たなネットワーク	2			
	5. 地域や社会に与えたインパクト	2			
III. 実施の結果	1. 協働意識の醸成	2			9
	2. 協働の満足度	2			
	3. 協働のコストの分担	1	1		
	4. 今後の協働の改善	2			
	5. 結果の公開と説明責任	2			

NPOと行政の 協働事業自己チェックリスト

[完了期]

試作品

このチェックリストは、
「市民と行政」が行う「協働事業」を
「事業に中心的に関わっていた人」が、
事業終了後、報告書作成段階の「完了期」に
「セルフチェック」を行うためのシートです。

所属組織名称：特定非営利活動法人地域づくり考房みなど

記入者氏名：海山裕之

記入年月日：2005年2月20日

協働事業の名称：住民参画のプラットホーム創造事業

■はじめに

以下のチェックリストの設問を読み、現在、行われていると思うものには はい、
 行われていないと思うものには いいえ、わからないものには ? を選び、回答を
 ○で囲み（データに直接入力の場合は、内を灰色で塗りつぶす）、チェックしてください。

I. 事業の結果

1. 問題発生時の体制

<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
--	------------------------------	----------------------------

事業実施に関して問題が発生した場合に、速やかに両者でその問題について情報を共有し、話し合いを行ったり、解決できない場合は第三者に相談するなど、解決を図る体制をつくりましたか？

2. クレームの吸い上げとフィードバック

<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
--	------------------------------	----------------------------

事業実施に関して受益者やドナーから苦情や意見が寄せられた場合に、速やかに両者でその情報を共有し、適切に対応すべく、改善に向けた話し合いを行い、活かすことができましたか？

3. 事業実施後の振り返り

<input type="checkbox"/> はい	<input checked="" type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
-----------------------------	---	----------------------------

事業終了後、当初の企画や実施内容、その結果についてお互いに話し合う機会を持ち、結果の把握と共有に努めるとともに、それぞれの提供した資源(人・物・予算・情報)、役割、負担などに見合う、事業規模、取り組み、結果であったか意見交換を行いましたか？

[結果]

4. 成果の達成

<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
--	------------------------------	----------------------------

事業を始める時に設定した成果目標は、達成できましたか？

(*成果目標を、両者の間で話し合い、互いに達成を確認していることが前提となります)

[成果]

規約づくり、想定される問題点の洗い出し、ホームページの作成については目標を達成し、平成16年度にシステムの本格運用のスタートにつなげることができた。本格的な説明用パンフについては、立ち上がりからしばらくの間は細かいシステムの調整が必要との見地からかたちにはできなかった。

5. 事業の将来展望

<input type="checkbox"/> はい	<input checked="" type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
-----------------------------	---	----------------------------

今回行った事業が、今後どのような形で続いていくことが望ましいか、残っている課題や改善策について話し合い、政策提言としてまとめるなど、行政関与の観点も含めて、社会的な責任を果たしていく体制などを両者で検討しましたか？

[課題解決のための改善提案]

上記「はい」と答えた合計	3
--------------	---

II. 事業の成果

1. 事業後の受益者とのコミュニケーションと満足度

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業終了後、受益者から意見を聴く機会を持ち、この事業を通じて十分な満足を得られたかを確認し、今後の事業につながる良好な関係づくりを行っていますか？

[受益者の満足の声]

NPOに対してはヒアリングによる調査を実施したが、活動資金が調達できてありがたいという声があるものの、システム内容についてはいまひとつ理解が進んでない印象を受けた。試験運用から引き続き登録してもらっているNPOも12団体ある。

2. 事業後の資源提供者とのコミュニケーションと満足度

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業終了後、報告書や決算書などを作成し、納税者を含む資源提供者への積極的な情報の提供や公開を行い、また、意見を聴く機会を持ち、事業の結果に十分な満足を得られたかを確認し、今後の事業につながる良好な関係づくりを行っていますか？

[資源提供者の満足の声]

3. 人々の自立性の向上

はい	いいえ	?
----	-----	---

この事業を通じて、地域の人々が、地域や社会の課題を理解し、自立した市民として、解決のために自発的に行動できるようになりましたか？

4. 新たなネットワーク

はい	いいえ	?
----	-----	---

この事業を通じて、市民や関係する団体、行政の新しいつながりが生まれ、地域に新たなネットワークが出来てきましたか？

5. 地域や社会に与えたインパクト

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業を実施することにより、期待された影響 [課題解決・社会変革] を、地域や社会にもたらすことができましたか？

[事業が地域や社会に与えた影響]

地域企業や商店のなかには、社会貢献ということに対して少しずつ意識を向け始めるところが出始めている。地域通貨という新しいツールに対して、いろんなセクター（NPO、企業、商店街、行政など）の関心が集まっている。NPOの中にも資金調達に積極的に取り組むところが出てきている。

上記「はい」と答えた合計	3
--------------	---

Ⅲ. 実施の結果

1. 協働意識の醸成

はい	いいえ	？
----	-----	---

事業を通じて、事業関係者（行政・市民）の間で、協働への理解が深まり、効果を実感する人が増え、今後、積極的に協働という手法を事業に取り入れ、実施しようという機運が生まれてきましたか？

2. 協働の満足度

はい	いいえ	？
----	-----	---

事業を通じて、事業に関わった人々（行政・市民）は、単独で事業を行った場合よりも、協働で進めたことでより大きな効果を得たと実感し、十分な満足を得ることができましたか？

3. 協働のコストの分担

はい	いいえ	？
----	-----	---

事業を通じて、行政側、市民側、あるいは一部の関係者に、費用、労力・時間等、ある面での負担感が生じたとき、その負担に対する配慮ができていましたか？

[生じた負担感]

市民（NPO）側に欠員が生じたために一部のスタッフに負担が集中するという自体が発生したが、代替的にこなせない業務が多く、仕事は可能な限り複数のスタッフで進める必要があることを感じた。

4. 今後の協働の改善

はい	いいえ	？
----	-----	---

この事業を通じて得た、協働事業を行う際の関係づくり、資源（人・物・予算・情報）調達、役割分担、連携等の課題を抽出し、両者で改善を考え、互いに今後の協働事業に活用していきますか？

[改善ポイント]

5. 結果の公開と説明責任

はい	いいえ	？
----	-----	---

この事業の結果や成果を自己評価や当事者以外の評価によって明らかにし、今後、同じような協働事業の企画・実施にあたっての改善のヒントにするために、地域や社会に対して積極的に情報を公開していきますか？

上記「はい」と答えた合計	4
--------------	---

NPOと行政の 協働事業自己チェックリスト

[完了期]

試作品

このチェックリストは、
「市民と行政」が行う「協働事業」を
「事業に中心的に関わっていた人」が、
事業終了後、報告書作成段階の「完了期」に
「セルフチェック」を行うためのシートです。

所属組織名称：観光・交流室

記入者氏名：森 元就

記入年月日：2005年2月24日

協働事業の名称：住民参画のプラットフォーム創造事業

■はじめに

以下のチェックリストの設問を読み、現在、行われていると思うものには はい、
行われていないと思うものには いいえ、わからないものには ? を選び、回答を
○で囲み（データに直接入力の場合は、 内を灰色で塗りつぶす）、チェックしてください。

I. 事業の結果

1. 問題発生時の体制

<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
--	------------------------------	----------------------------

事業実施に関して問題が発生した場合に、速やかに両者でその問題について情報を共有し、話し合いを行ったり、解決できない場合は第三者に相談するなど、解決を図る体制をつくりましたか？

2. クレームの吸い上げとフィードバック

<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
--	------------------------------	----------------------------

事業実施に関して受益者やドナーから苦情や意見が寄せられた場合に、速やかに両者でその情報を共有し、適切に対応すべく、改善に向けた話し合いを行い、活かすことができましたか？

3. 事業実施後の振り返り

<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
--	------------------------------	----------------------------

事業終了後、当初の企画や実施内容、その結果についてお互いに話し合う機会を持ち、結果の把握と共有に努めるとともに、それぞれの提供した資源(人・物・予算・情報)、役割、負担などに見合う、事業規模、取り組み、結果であったか意見交換を行いましたか？

[結果] 循環者ファンド運営規約やホームページを完成させ、同ファンドの本格的運用が開始されました。

4. 成果の達成

<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
--	------------------------------	----------------------------

事業を始める時に設定した成果目標は、達成できましたか？

(*成果目標を、両者の間で話し合い、互いに達成を確認していることが前提となります)

[成果] 循環者ファンドの本格的運用が開始されNPOに対する寄付が集まるとともに、地域通貨を活用した企業、商店、NPOなど多様な主体の参画による地域づくりの活動が始まってきています。

また、規約などの作成過程を公表することにより、他の地域・団体が同様の事業を実施する際の参考となる情報を共有化することができました。

5. 事業の将来展望

<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
--	------------------------------	----------------------------

今回行った事業が、今後どのような形で続いていくことが望ましいか、残っている課題や改善策について話し合い、政策提言としてまとめるなど、行政関与の観点も含めて、社会的な責任を果たしていく体制などを両者で検討しましたか？

[課題解決のための改善提案]

上記「はい」と答えた合計	4
--------------	---

II. 事業の成果

1. 事業後の受益者とのコミュニケーションと満足度

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業終了後、受益者から意見を聴く機会を持ち、この事業を通じて十分な満足を得られたかを確認し、今後の事業につながる良好な関係づくりを行っていますか？

[受益者の満足の声]

県が参画したことが企業の参加を促したとの評価を聞いています。

2. 事業後の資源提供者とのコミュニケーションと満足度

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業終了後、報告書や決算書などを作成し、納税者を含む資源提供者への積極的な情報の提供や公開を行い、また、意見を聴く機会を持ち、事業の結果に十分な満足を得られたかを確認し、今後の事業につながる良好な関係づくりを行っていますか？

[資源提供者の満足の声]

3. 人々の自立性の向上

はい	いいえ	?
----	-----	---

この事業を通じて、地域の人々が、地域や社会の課題を理解し、自立した市民として、解決のために自発的に行動できるようになりましたか？

4. 新たなネットワーク

はい	いいえ	?
----	-----	---

この事業を通じて、市民や関係する団体、行政の新しいつながりが生まれ、地域に新たなネットワークが出来てきましたか？

5. 地域や社会に与えたインパクト

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業を実施することにより、期待された影響 [課題解決・社会変革] を、地域や社会にもたらすことができましたか？

[事業が地域や社会に与えた影響]

三重銀行がNPOに寄付を行い、Jマナーを活用した新商品を発売するなど、企業の地域貢献活動に影響を与えました。

上記「はい」と答えた合計	4
--------------	---

Ⅲ. 実施の結果

1. 協働意識の醸成

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業を通じて、事業関係者（行政・市民）の間で、協働への理解が深まり、効果を実感する人が増え、今後、積極的に協働という手法を事業に取り入れ、実施しようという機運が生まれてきましたか？

2. 協働の満足度

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業を通じて、事業に関わった人々（行政・市民）は、単独で事業を行った場合よりも、協働で進めたことでより大きな効果を得たと実感し、十分な満足を得ることができましたか？

3. 協働のコストの分担

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業を通じて、行政側、市民側、あるいは一部の関係者に、費用、労力・時間等、ある面での負担感が生じたとき、その負担に対する配慮ができていましたか？

[生じた負担感] 会議の進行、運営規約の作成、議事録の作成、ホームページの運営等様々な局面で、負担を分かち合えました。

4. 今後の協働の改善

はい	いいえ	?
----	-----	---

この事業を通じて得た、協働事業を行う際の関係づくり、資源(人・物・予算・情報)調達、役割分担、連携等の課題を抽出し、両者で改善を考え、互いに今後の協働事業に活用していきますか？

[改善ポイント]

5. 結果の公開と説明責任

はい	いいえ	?
----	-----	---

この事業の結果や成果を自己評価や当事者以外の評価によって明らかにし、今後、同じような協働事業の企画・実施にあたっての改善のヒントにするために、地域や社会に対して積極的に情報を公開していきますか？

上記「はい」と答えた合計	5
--------------	---